

めあて 文章全体と部分との関係に気を付けて文章を眺もう。

① 次の文章を読んで、あとの問題に答えなさい。(※1から5は設問番号です。)

かつて田んぼは用水路で水を引いていました。その用水路は田んぼとほぼ同じ高さであり、微妙な高さの違いを利用して水の入り口と出口が造られていました。一つの田んぼから出た水が隣の田んぼに入る、という構造になっていたのもありました。そのような用水路は地形に応じて曲がっており、深さも一定でないで、水の流れるにも微妙に違いがあり、それに応じて違う植物が生えていました。昔の子供が夢中で魚捕りをしたのは、このような用水路でした。秋になって田んぼから水が抜かれても用水路には水が残っており、くぼみが「魚だまり」となって魚が生きていたのです。

② ところが、一九六〇年代から始まった農業生産整備事業によって、自然の地形に応じて造られていた田んぼに大きな変化が生じました。かつて人力で営々と築かれてきた田んぼは、大規模な土木工事によって完全に造り変えられました。田んぼの水が管理しやすいうちに、用水路はU字管というコンクリートの管にされました。断面の形がU字型なのでこう呼ばれます。U字管の横断は水田に水を運ぶことですから、それ以外のものは必要ありません。その結果、水を流す時は洪水のように大量の水が勢よく流れます。魚が隠れる所もなければ、カエルが卵を産む所もありません。用水路は田んぼから効率的に排水するために、水田との高さの差が大きくなるように造られました。このため、水を抜くと田んぼは完全に干上がります。その結果、夏の「A」と冬の「砂漠」が繰り返されることになりました。これでは生きていけない動物はいません。

③ 日本の農業は稲作が中心ですが、それは米を巨大なポットのような所で効率的に作ることでなければなりません。毎日の営みの中で米作りを中心に置きながらも、家畜を飼い、裏山から肥料となる枯れ葉を集め、時々ドジョウやフナを捕るなど、実にもさまざまな営みの中で行われたものでした。また、田植えの時には若い女性が暗れ着を着て早苗を植え、近所の人々が助け合って田植えや稲刈りをするという社会の「B」でもありました。そして先祖から引き継いだ土地に祈りをささげ、収穫物に感謝をささげるといふ心に支えられたものでした。それは工場で米という名の製品を作るのとはほど遠い営みでした。

④ しかし、この土木工事はそのように全てを無視したものでした。そのことの意味の深さを私たちは考え続けなければならぬと思います。
「生物が消えていく」高槻 成紀 より(平成二十四年度 学校図書)

1 A B に入る言葉を本文中からそれぞれ二文字で書き抜きなさい。

2 線①「巨大なポットのような所」とありますが、このことについて具体的に書かれて

ア 線②「そのようなことを無視した」とありますが、どのようなことを無視しているのか。当てはまるものを、次のアからエまでの中から選びなさい。

ア 米作りを中心にした営みながらも、家畜を飼い、裏山から肥料となる枯れ葉を集め、時々ドジョウやフナを捕るなど、さまざまな営みの中で米作りが行われていたこと。

イ 大規模な土木工事によって田んぼの水が管理しやすいうちに用水路を作り変え、効率的に米を作ることができるようになったこと。

ウ 一九六〇年代から始まった農業生産整備事業によって、工場で米という名の製品を作ること。

エ 用水路をU字管にしたことで、大量の水が勢よく流れるようになり、田んぼで生きていけない動物がいなくなること。

オ 米作りは、先祖から引き継いだ土地に祈りをささげ、収穫物に感謝をささげるといふ心に支えられたものであったこと。

※次のページにも問題があります。

二 図書委員の小林さんは、全校集会で「本の返却期限を守ろう」ということを呼びかけることになり、話すことをまとめてメモにしました。次の「メモ」と「村木さんとの対話」を眺んで、あとの問題に答えなさい。

【小林さんが話そうと思っていること「メモ」】
「図書委員の返却期限を守ってほしい。二百冊以上の本が、返却期限を過ぎて返却されてきていない。返却されない本の数は、これも増えるにちがいない。図書委員が整理するときにも手間がかかる。聞かなくてもいいかと思ってしまう人が出るのでは。長い間借りられていた本が、汚れて返ってくるのを悲しくなる。その本を借りたくて、待っている人がいるかもしれない。」

【村木さんとの対話】
村木さん 二百冊といったら二人に二冊の割合だよ。そんなに期限を守らなければならぬ。そんなに知らなかった。ところで「返却されない本の数は、これも増えるにちがいない」と言える理由はあるか？

小林さん 図書委員の調査では、毎年少しづつ増えているの。

村木さん それなら、その事実を話したあとに自分の考えを言ったほうが、言いやすいのかな。それに、「汚れて返ってくるのを悲しくなる」という気持ちもわかるけど、「A」「B」と「汚す」ということは、別のことじゃないかな？

小林さん そうだね。返却期限を守ってほしいというのを中心にして、期限を守られていないということや、他の人が困るということにも触れながら話してみようね。

1 A B 当てはまる発言を、メモや対話を参考にして、十字以内で書きなさい。

2 B に当てはまるメモを、「小林さんが話そうと思っていること」の「メモ」と「村木さんとの対話」を参考にして、三十文字以内で書きなさい。

3 「村木さんとの対話」のあと、「汚れて返ってくるのを悲しくなる」こと以外に、話すことをやめようと考えたのはどのような内容ですか。二つのメモを比べて書きなさい。

Blank boxes for answers to questions 1, 2, and 3.

※次のページにも問題があります。